

・・・もし千葉市が給料収入500万円の家庭だったら・・・

市の財政と家庭の家計ではしくみが違いますが、分かりやすくするために、令和6年度一般会計予算を家計簿に置き換えてみました。

なお、令和6年度の市税を給料500万円として作成しています。

《 ちばしの家計簿 》

収入

項目	R6	R5	R6-R5増減
給料(市税)	500万円	508万円	△8万円
パート収入(使用料・手数料など)	80万円	70万円	10万円
親からの仕送り (国庫支出金・地方交付税など)	484万円	446万円	38万円
友人から返ってくるお金 (中小企業資金融資預託金収入)	15万円	19万円	△4万円
借入金(市債)	133万円	110万円	23万円
貯金の取り崩しなど(繰入金)	28万円	21万円	7万円
合計	1,240万円	1,175万円	65万円

日常的な収入
合計1,079万円

支出

項目	R6	R5	R6-R5増減
食費(人件費)	250万円	232万円	18万円
生活費(物件費・補助費など)	207万円	203万円	4万円
医療費(扶助費)	320万円	303万円	17万円
自宅の修理代(維持補修費)	20万円	22万円	△2万円
車・土地の購入代(普通建設事業費)	160万円	117万円	43万円
子どもへの仕送り(他会計への繰出金など)	135万円	136万円	△1万円
借入金の返済(公債費)	128万円	132万円	△4万円
貯金(積立金)	5万円	11万円	△6万円
友人へ貸すお金 (中小企業資金融資預託貸付金)	15万円	19万円	△4万円
合計	1,240万円	1,175万円	65万円

※借入金及び貯金(R4年度末現在)

借入金の残高 (市債・債務負担行為残高)	2,149万円
貯金の残高(基金残高)	85万円

令和6年度は、親からの仕送りが増えた結果、日常的な収入は1,079万円となりました。

また、支出は、食費や車・土地の購入が増えたため、1,240万円となりました。そのため、日常的な収入だけでは不足するので、借入金や貯金の取り崩しを前年より増やし、なんとかやりくりしました。